

ひがしおおさか水道ビジョン2030

現状評価の視点

安全

○安全な水道の供給は保証されているか。

- 水道水質基準の遵守
- 適切な施設整備と水質管理
- 水質の安全性向上

強靱

○危機管理への対応は徹底されているか。

- 施設・管路の経年劣化
- 施設・管路の耐震性
- 危機管理の体制

持続

○水道サービスの持続性は確保されているか。

- 資金の確保（給水収益及び更新需要の見通し）
- 経営状況（財政収支、経営健全化）
- 事業の運営体制・組織体制
- 広域化・官民連携

国際展開・環境対策

- ### 関連計画の把握
- 経営戦略
 - アセットマネジメント
 - 水安全計画
 - 危機管理マニュアル
 - 再構築基本構想
- ### 市民アンケート調査
- ### 各所属ヒアリング
- ### 中長期計画の進捗評価
- ### 業務指標（PI）による分析

課題の抽出

安全

- 自己水（湧水）における水源リスク及びコスト管理
- 適切な水質管理の徹底、水質事故などに対する危機管理強化
- 鉛製給水管の残存による安全性・耐震性の低下
- 貯水槽水道等における衛生的な水の確保
- 水需要低下に伴う施設効率性低下（水道施設の再構築等）
- 施設・管路の維持管理水準の向上、適正な維持管理体制の構築

強靱

- 施設・管路の経年劣化の進行による断水被害等の増加
- 管路施設や配水池の耐震化の進捗の遅れ
- 病院等の重要給水施設への災害時の給水ルート確保の必要性
- 災害時・緊急時におけるバックアップの確保
- 配水ブロック化による災害時の断水影響等の低減

持続

- 料金収入の不足・減少による施設更新等の遅れ
- 料金水準・体系の適正化
- 水道サービスレベルの向上
- 給水装置工事業者の資質の確保
- ベテラン世代の退職等による職員不足・技術力の低下
- 大阪府域の水道事業者との広域的な連携の検討
- 効率的かつ持続可能な事業運営のための民間活力導入検討

将来の事業環境

外部	✓ 人口及び給水量の減少に伴う料金収入の減少
	✓ 給水量の減少に伴う保有施設の過大化
内部	✓ 施設・管路の経年劣化の進行
	✓ 料金収入減少による財政悪化
	✓ 職員数の減少、技術継承の途絶

基本理念

ささえる・つながる・未来へつなぐ —すこやか水道 東大阪—

市民の生命・生活を支えつづけていく重要なインフラとしての使命をもち、ラグビーからイメージされる団結力で市民・地域・近隣事業者・協力企業などと連携していきながら、東大阪に携わる全ての人々を支え、またその活動をつなげ、さらに未来・次世代に引き継いでいくことができる「すこやか水道」の実現をめざします。

将来像

安全・安心・安定の信頼される水道
災害に備えた強靱な水道
健全な経営を持続できる水道

実現方策（8方策）

- 安全な水道水質の維持・向上
- 効率的な水道施設の再構築と維持管理
- 水道施設のレベルアップ
- 危機管理のレベルアップ
- 経営基盤の強化
- 組織運営の強化・効率化
- お客さまサービスの向上
- 環境への配慮

施策（18施策）

- 水質管理体制の充実
- 鉛製給水管解消の推進
- 貯水槽水道への指導・助言強化と直結給水の推奨
- 水道施設の最適な配置・規模での整備
- 水道施設の適切な更新・維持管理の推進
- 水道施設の防災対策の推進
- 危機管理体制の充実
- 地域・他事業者・企業との連携の推進
- 適切な資産管理の推進
- 必要な財源確保の推進
- 効率的な組織運営の推進
- 水道に精通した人材の育成
- 広域連携・官民連携の推進
- 広報・広聴手法の充実
- 水道サービス・手続きの充実
- 給水工事事業者の資質向上
- 省エネルギーに努めた水運用の推進
- 環境へ配慮した事業の推進